

# BD/DVD

## セットアップガイド

### BRD-UM2

この度は、「BRD-UM2」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に「本書」をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いいたします。

## 動作環境の確認

	ブルーレイディスク Blu-ray Disc映像編集・再生時	ブルーレイディスク Blu-ray Discデータ書込時/ DVD/CDディスク使用時
対応機種 <sup>※1</sup>	USB 2.0 <sup>※2</sup> ポートを搭載したDOS/Vマシン	
対応OS <sup>※3</sup>	Windows XP Service Pack 2	Windows XP Service Pack 2/2000 Professional Service Pack 4
搭載CPU <sup>※3</sup>	Pentium 4 2.8GHz以上	Pentium 4 1.8GHz以上
メモリ <sup>※3</sup>	512M/バイト以上（1G/バイト以上推奨）	512M/バイト以上
ハードディスク	空き容量 30G/バイト以上（Blu-ray映像編集時は60G/バイト以上推奨）	
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度	
インターネット	本製品をご利用の際には、インターネット接続環境が必要です。	

対応メディア <sup>※4</sup>	●B D: BD-R、BD-RE <sup>※5</sup> 、BD-ROM ●DVD: DVD+R <sup>※6</sup> 、DVD+RW、DVD-R <sup>※7</sup> 、DVD-RW、DVD-RAM <sup>※8</sup> 、DVD-ROM ●C D: CD-R、CD-RW、CD-ROM	
----------------------	---	--

推奨メディア <sup>※9</sup>	メディア	メディアの速度	メーカー名
	1層BD-R	2倍速	TDK、Panasonic
	2層BD-R	2倍速	Panasonic
	1層BD-RE	2倍速	TDK、Panasonic
	2層BD-RE	2倍速	Panasonic
	1層DVD+R	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	2層DVD+R <sup>※10</sup>	8倍速 4倍速	太陽誘電、日立マクセル、リコー
	2層DVD-R <sup>※10</sup>	2.4倍速（最大4倍速書き込み <sup>※12</sup> ）	日立マクセル、三菱化学
	DVD+RW	8倍速 4倍速	日立マクセル、リコー
	DVD-RW	16倍速（8倍速書き込み）	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	2層DVD-R <sup>※10</sup>	8倍速 4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RW	4倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	DVD-RAM <sup>※11</sup>	5倍速 3倍速	ピクチャー、日立マクセル、三菱化学
	CD-R	4倍速	ピクチャー、日立マクセル、三菱化学
	CD-RW	4倍速	Panasonic、日立マクセル
	CD-R	太陽誘電、三菱化学	Panasonic、日立マクセル
	CD-RW	三菱化学	

- 本製品で書き込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したDVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- 上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づいてクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されるか、受信機を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。



## I-O DATA

B-MANU200546-01



※1 より詳しい対応機種情報に対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。  
<http://www.iodata.jp/pio/>

※2 パソコン本体に標準で搭載されているUSB 2.0の規格で、ご利用のOSに対応したドライバがインストールされている必要があります。  
(Microsoft社製 USB 2.0ドライバ推奨) 増設USB 2.0インターフェイスには対応していません。

※3 市販のBlu-rayビデオを再生する際には、添付ソフトウェアのアップグレードが必要です。また、動作環境も左記とは異なります。詳細は弊社ホームページにてご確認ください。

※4 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。  
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※5 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応していません。

※6 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込みが可能です。

※7 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※8 カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および2.6G/バイト面のメディアには対応していません。

※9 ●推奨メディア以外を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。  
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※10 8倍速メディアへの書き込みには対応していません。

※11 2倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※12 弊社では記載の倍速メディアにてメディアの倍速を超える高速の書き込みを確認しておりますが、全ての環境についてメディアの倍速を超える高速の書き込みを保証するものではありません。また、メディアメーカーへのお製品でのメディアの倍速を超える高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

## 1.準備しよう

### 内容物を確認します

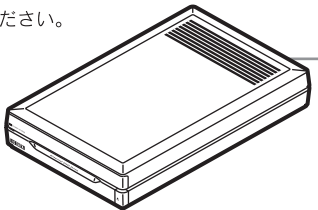
□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）

□ ACアダプター（1個）

□ USBケーブル（1本）

□ 縦置きスタンド（1個）



● BD/DVDセットアップガイド（本書/1枚）  
● BD Proツールズコレクション for BRD-M2（CD-ROM/1枚）  
● UleadソフトウェアCD（CD-ROM/1枚）  
● Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）  
● BD-REメディア（サンプル品/1枚）  
● ゴム足（8個）  
● ハードウェア保証書（1枚）

● BD/DVDセットアップガイド（本書/1枚）  
● BD Proツールズコレクション for BRD-M2（CD-ROM/1枚）  
● UleadソフトウェアCD（CD-ROM/1枚）  
● Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）  
● BD-REメディア（サンプル品/1枚）  
● ゴム足（8個）  
● ハードウェア保証書（1枚）

● BD/DVDセットアップガイド（本書/1枚）  
● BD Proツールズコレクション for BRD-M2（CD-ROM/1枚）  
● UleadソフトウェアCD（CD-ROM/1枚）  
● Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）  
● BD-REメディア（サンプル品/1枚）  
● ゴム足（8個）  
● ハードウェア保証書（1枚）

### シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。  
(例: A0A0000000XX)  
シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

最新版ファームウェア等のダウンロード <http://www.iodata.jp/lib/>

ユーザー登録 <http://www.iodata.jp/regist/>

ハードウェア保証書について  
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されています。本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

### 各部の名称

#### ドライブ前面



アクセス/Powerランプ イジェクトボタン  
電源ON時: 青色に点灯します。  
読み込み時: 青色に点滅します。  
書き込み時: オレンジ色に点滅します。

●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。  
●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

#### ドライブ背面



電源スイッチ  
電源をONにするように切り替えます。  
※[AUTO] (電源連動機能) については右記「電源連動機能とは？」をご覧ください。

## 製品仕様

ドライブ名	SW-5582(OEM供給元：パナソニック四国エレクトロニクス株式会社)										平均アクセスタイム	●BD-ROM：210ms ●CD-ROM：160ms ●DVD-ROM：170ms ●DVD-RAM：220ms		
インターフェイス仕様	USB 2.0										書き込み方法	●BD-RE：Random Access ●BD-R：Sequential Recording、Random Recording、 Sequential Recording with Logical Overwrite  ●DVD+R：Sequential write ●DVD+RW：Random write ●DVD-R：Disc at Once、Incremental ●DVD-RW：Disc at Once、Incremental、 Restricted Overwrite  ●DVD-RAM：Random write ●CD-R/RW：Disc at Once、Session at Once、 Track at Once		
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）													
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング													
データバッファサイズ	8M/バイト													
書き込みエラー回避機能	搭載													
最大書き込み/読み込み速度  ※ BD×1の転送速度はDVDの ×3.25に相当します。	B	D	1層/2層 -R	1層/2層 -RE	ROM	C	D	-R	-RW	ROM	電源仕様	AC 100V±10%、50/60Hz		
	書き込み	×2	×2	×2	-	書き込み	×24	×16	-	-		動作電流	5V：1.5A、12V：1.0A	
	読み込み	×2	×2	×2	書き込み	×32	×24	×32	-	-			動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
	DVD	1層 +R	2層 +R	+RW	1層 -R	2層 -RW	RAM	ROM	動作湿度	20％～80％（結露なきこと）				
適合フォーマット	書き込み	×8	×4	×8	×8	×4	×6	×5		-	-	外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）	
	読み込み	×8	×8	×8	×8	×8	×8	×5	×8(1層) ×8(2層)	質量	約1.7kg（ACアダプターを除く）			
	●B D:BD-ROM  ●DVD: DVD-Video、DVD-ROM  ●C D: CD-ROM mode 1、CD-ROM mode2(form 1, form 2)、CD-Extra、CD-I、PhotoCD、 Video CD、CD-DA、CD-TEXT													

平均アクセスタイム  
●BD-ROM : 210ms ●CD-ROM : 160ms  
●DVD-ROM : 170ms ●DVD-RAM : 220ms

書き込み方法  
●BD-RE : Random Access  
●BD-R : Sequential Recording、Random Recording、Sequential Recording with Logical Overwrite  
●DVD+R : Sequential write  
●DVD+RW : Random write  
●DVD-R : Disc at Once、Incremental  
●DVD-RW : Disc at Once、Incremental、Restricted Overwrite  
●DVD-RAM : Random write  
●CD-R/RW : Disc at Once、Session at Once、Track at Once

電源仕様  
AC 100V±10%、50/60Hz  
定格電流  
5V : 1.5A、12V : 1.0A  
動作温度  
+5~+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）  
動作湿度  
20%~80%（結露なきこと）  
外形寸法  
170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）  
質量  
約1.7kg（ACアダプターを除く）

## 2.接続しよう

### 本製品をパソコンに接続します

※セットアップを行う場合には、管理者権限でログインしてください。

#### 手順.1

本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

#### 手順.2

添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

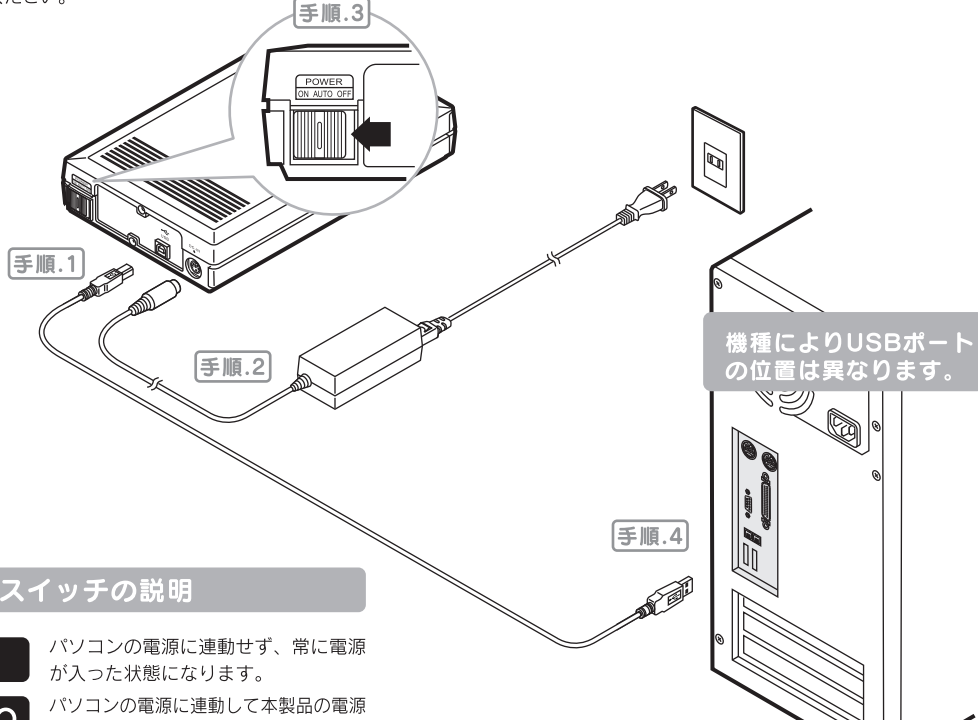
#### 手順.3

電源を入れます。

#### 手順.4

パソコンのUSBポートにつなぎます。

本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



#### 電源スイッチの説明

ON  
AUTO  
OFF

パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。  
パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）  
パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

注意  
本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

### 電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が[AUTO]の状態の時のみ有効です。この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。

#### 起動時



#### 終了時



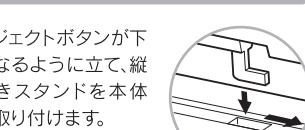
注意  
電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点で本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

### 縦置きにする場合

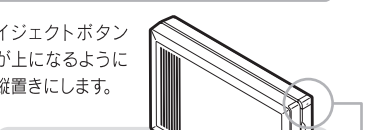
#### 手順.1



#### 手順.2

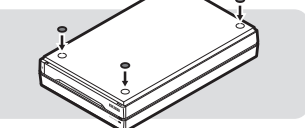


#### 手順.3



### 横置きにする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。

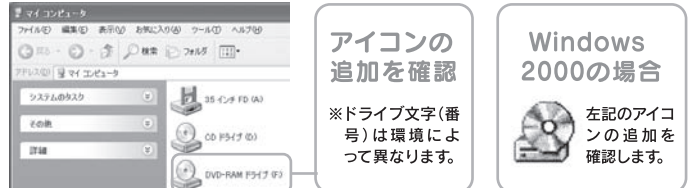


注意  
●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。  
●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

## 3.確認しよう

### 正常に使用できるかを確認します

パソコンを起動して「マイコンピュータ」を開き、CD-ROMのアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。



↑（画面例: Windows XP）

### こんなときには？

#### アイコンが追加されていない場合

- 「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてみてください。
- ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- 添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない（本製品のアイコンがマイコンピュータに表示されない）」をご参照ください。

#### 「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

「キャンセル」ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

## 4.その他

### 取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。  
（画面例: Windows XP）

#### 手順.1

タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

表示されるアイコンはOSによって異なります。

#### 手順.2

本製品の表示をクリックします。  
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。  
（画面例: Eドライブの場合）

#### 手順.3

メッセージを確認します。  
（Windows 2000の場合は「OK」をクリックします。）

#### 手順.4

パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。

AUTOの場合、自動的に電源が切れます。左記、「電源連動機能とは？」をご参照ください。

### こんなときには？

#### 「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。  
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

### その他ご注意

- ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- 一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- 本製品は、パソコンの省電力機能には対応していません。
- 本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

### 裏面へお進みください。➡



